

# 農薬は危険か

## 有機農業と農薬の実際

### 【目次】

序章	第 1 節:有機農法の基準分析
第 1 章:なぜ農薬は危険だと思われるのか	第 2 節:有機農法の病虫害防除の欠点
第 1 節:消費者意識の現状と分析	第 3 節:有機肥料の実際
第 2 節:食に対する消費者意識の現状と分析	第 4 節:食料自給率という壁
第 2 章:野菜に含まれる危険成分の実際	第 4 章:現状を打破するには
第 1 節:今日でも問題視される農薬の実態は	第 1 節:使うしかない化学農薬
第 2 節:知られざる植物中の危険物質	第 2 節:食育や情報提供の必要性
第 3 章:持続可能な農業の落とし穴	終章

### 【目的】

現在、日本の食糧問題は自給率の低下や安全性の問題を抱えている。中でも、農産物においては、あらゆる食品の原点であり、その生産方法などの安全性が問われている。こうした事を最も気にしている消費者が安全だと考えている有機農法と、危険と感じている農薬。これらが実際にその通りなのかを検証する。

### 【方法】

文献およびインターネットにより情報を収集し、現在消費者に一般的に言われている有機農業と農薬が、その通りのものであるか調査した。

### 【結論】

農薬は危険で有機農法が安全である。一般的にはそう認識されている。しかし、使用法と使用量を適正に使っている限り、農薬は安全であり、過去の農薬問題が危険だと思わせていたことが分かった。逆に、有機農法は種類が限定されているとはいえ、農薬の使用が可能であった。更に通常の農業で規制されている水質汚濁性農薬までもが使用可能と言うことが分かった。

こうした食料生産という生命の根本に関わる事が、一般の多くの人に間違った認識を与えているのは大変危険であるし、食糧問題の解決にも大きく影響する。食糧問題の解決のためには、消費者に正しい判断ができる情報の提供と食育をしていく事で、消費者の理解と参加を得られるようにすることが更なる解決への大きな一歩になると共に課題でもある。

### 【参考文献】

- 春日敏行 『食品公害・農薬汚染 揺れる「食」の安全』 一橋出版株式会社 2002年6月  
松中昭一 『日本における農薬の歴史』 株式会社学会出版センター 2002年5月  
化学工業日報農薬取材班 『農薬の話ウソ・ホント?!』 化学工業日報社 1989年6月  
村本昇 『農薬はこわくない・悲しき誤解に抗議する』 株式会社近代文芸社 1996年10月  
鈴木啓介 『安全食品 農薬を知ろう!』 株式会社文芸社 2004年6月  
永田照喜治 『食はつちにあり—永田農法の原点』 NTT出版株式会社 2003年6月  
現代農業 『追求!茶園の土が腐って根が傷んでいる』 2005年3月号  
現代農業 『天敵栽培すると、問題になってくる虫たちとは?』 2005年6月号

<http://www.meiji.co.jp/etc/ishoku/200401/oa4.html>

<http://www8.plala.or.jp/farm432/Farm/guideline.htm>

[http://www.greenjapan.co.jp/nose\\_yukifood\\_guide.htm#6](http://www.greenjapan.co.jp/nose_yukifood_guide.htm#6)

<http://home.catv.ne.jp/kk/chemiweb/ladybugs/kiji/t11003.htm>

[http://www.oyako-net.com/medicine\\_info/column\\_117.html](http://www.oyako-net.com/medicine_info/column_117.html)

[http://www.mindresort.net/archives/2005/06/lohas\\_1.php](http://www.mindresort.net/archives/2005/06/lohas_1.php)